

「兵庫県南部地震と防災」研修を行いました

12月8日(木)、本校1年次生全員を対象とした兵庫県南部地震と防災研修を行いました。本研修は、全ての1年次が履修している「自然科学探究基礎Ⅰ」の授業の一環として、北淡記念公園・野島断層保存館、および人と防災未来センターで行いました。

北淡記念公園・野島断層保存館では、地球科学の観点から、野外観察によって地震のメカニズムなどを学びました。野島断層の断層面が現れている場所やトレンチ(断層を調べるための溝)を観察し、特に直下型地震や断層について理解を深めました。また、震災当時の家の中の様子や震災で残された建造物などを見学しました。



人と防災未来センターでは、地震災害の記録に触れながら、防災・減災のための災害発生時の自分自身の行動のあり方について考えました。また、語り部の方から講演を聴いたり展示資料を見たりして、災害の前後で自分自身だけでなく、家族や地域社会がどうするべきか、どうあるべきかについて考えました。



コロナウイルス禍が広まりつつありますが、関係各所のご協力もあり、無事に研修することができました。ご協力していただいた皆様、ありがとうございました。



(研修の様子)

▽ 生徒の感想(一部抜粋)

- 教科書でしか見たことがなかった断層を自分の目で見る事ができた、というのが貴重な体験になったと感じました。見た目では「少しずれているな」と感じたくらいでしたが、その「少し」によって、大きな災害が引き起こされたということに、自然の大きさや怖さを感じました。いつ災害が起こるか、というのは完璧に予測することはできないと学んだので、避難経路の確認など、安全なうちにできることはやっておきたいと感じました。
- 人と防災未来センターで特に印象に残っているのは、「早く逃げることの難しさ」についての映像だ。確かに、私たちの家族も、近年の大雨でスマホに警告が流れた時も、それほど危機感を持っていなかった。そのような意識こそがとても危険で、良くないのだと考えさせられた。私は、生まれてからこれまで、大きな災害などに巻き込まれたことがなく、この日常を「当たり前」に思い危機感をまったく持つことなく、「平和慣れ」していると思う。今回の研修を通してこの考えを改め、地震やその他の自然災害についての情報を集め、知識を増やそうと思った。

科学部の活動報告

10～12月にかけて、科学部の各研究部は多くの発表を行ってきました。発表した研究班は以下の3グループです。

- ・サボテン班……サボテンのトゲのはえ方を、数式で表す研究
- ・ニハイチュウ班……軟体生物に寄生する「ニハイチュウ」という微生物の身体の変化に関する研究
- ・コンペイトウ班……コンペイトウのトゲの変化の様子に関する研究

前号（R4-8(第28号)）でお知らせした兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門のほか、以下の学会に参加しています。いずれの発表でも、大学の教員や大学院生、専門家が多くの質問に訪れ、さまざまなアドバイスをいただきました。

- ・ **TAMA サイエンスフェスティバル in TOYAKU**
(10/30(日) 東京薬科大学主催、オンライン発表)
サボテン班、ニハイチュウ班、コンペイトウ班が、oVice というオンラインツールを用い、バーチャル空間内でポスター発表を行いました。



- ・ **第95回日本生化学大会**
(11/11(金) 於：名古屋国際会議場)
サボテン班、ニハイチュウ班が口頭発表とポスター発表を行いました。ニハイチュウ班は、高校生発表の銅賞を受賞しました。



- ・ **第46回日本分子生物学会年会**
(12/2(金) 於：幕張メッセ)
生物系研究部サボテン班、ニハイチュウ班が口頭発表とポスター発表を行いました。



生徒研究後期発表会が近づいてきました！

1月19日(木)は、生徒研究後期発表会です。発表内容は年次・文理で分かれており、

- ・ 1年次生：理数探究基礎の時間で、自分たちで設定したテーマで行った研究の発表
- ・ 2年次生文系：総合的な探究の時間でまとめた科学倫理についての研究発表
- ・ 2年次生理系：理数探究・科学倫理で行った自然科学分野の中間発表

を、それぞれ行います。ポスター提出(締切：1/13(金))が終わっても、**発表原稿を見ず、ポスターをうまく活用して発表する練習**をして、発表までの時間を有効に使ってください。

また、どの生徒も自分の年次だけでなく、他年次の発表を聴きに行きます。**必ず事前に発表要旨を読み、自分が聴きたい発表・知りたいことを整理して、質問ができるようにしておきましょう。**質疑応答を通して、有意義な発表にしましょう！



(昨年度のSSH 生徒研究発表会の様子)